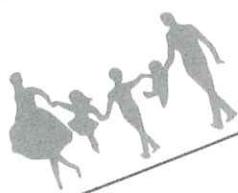




みらい子育てネットだより

発行 / 全国地域活動連絡協議会

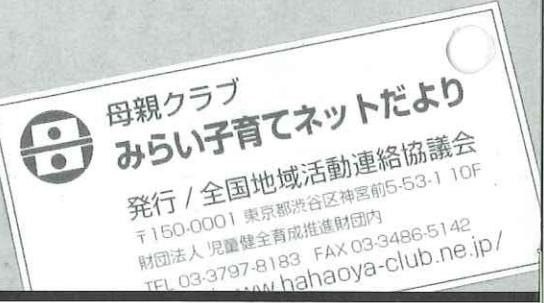


全国の母親クラブを結ぶ「みらい子育てネットだより」。

みんなはどんな活動をしているの?

全国大会や研修会の様子はどうだったの?

ヒントをいろいろ盛り込んで
気分一新、リニューアル紙面でお届けします。



CONTENTS

全国大会&ブロック別研修会

平成19年度事業中間報告

子育てTopics

みんなのひろば

事務局NEWS



全国大会、ブロック別研修会の
ご報告 (2ページ)



全国6か所で街頭キャンペーン
を実施しました (4ページ)



それぞれのブロックから活動
レポートが届きました (6ページ)

平成19年度 指導者研修会のご報告

北海道・東北／関東・甲信越ブロック

- 開催場所 福島県郡山市
- 開催期間 9月13日(木)～14日(金)
- 参加人数 1日目110名 2日目130名
- 主なプログラム
 - 「1日目」行政説明・福島県地協活動報告
リレー講演・事業説明
 - 「2日目」朗読・子育て支援フォーラム



開催地、福島県らしさを演出
(郡山ビューホテル アネックス)

東海・近畿・北陸ブロック

- 開催場所 石川県金沢市
- 開催期間 10月4日(木)～5日(金)
- 参加人数 1日目130名 2日目131名
- 主なプログラム
 - 「1日目」行政説明・講演・フォーラム
 - 「2日目」事業説明・平成18年度事例発表
石川県地協活動報告
グループディスカッション



参加者が共感できる身近な話題を提供
(金沢都ホテル)

中国・四国／九州ブロック

- 開催場所 岡山県倉敷市
- 開催期間 6月14日(木)～15日(金)
- 参加人数 1日目180名 2日目70名
- 主なプログラム
 - 「1日目」行政説明・わらべうた・バスセッション
 - 「2日目」活動報告・事業説明・講演



ペーパーサートを使った食育の講演も
(倉敷チボリ公園・倉敷国際ホテル)

全国大会

- 開催場所 和歌山県西牟婁郡白浜町 ホテルシーエスト
- 開催日程 10月25日(木)～26日(金)
- 参加人数 1日目320名 2日目180名 延べ500名
- 主なプログラム
 - 「1日目」開会式・行政説明・講演・フォーラム・意見交換会
 - 「2日目」事業説明・ブロック報告・和歌山県地協活動報告



知恵を絞った「心に残るおもてなし」
「スマモスの花が風にゆれ、陽光きらめく癒しの道、熊野古道が

世界遺産に指定された紀州路白浜に、全

国の中間を迎えて開催された、全国大会。

メインテーマ「見つけよう みんなが笑つててる いいところ」、サブテーマ「しま、地域であなたは何がで

きますか」をキーワードに、「地域力をどう作り発展させていくのか、親の役割は何か、子どもと共にどう作っていくのか」等々について話し合いました。堀内秀雄先生の「出来る人が出来るとき、地域で旗ふりをする。支え合いで助け合い、励まし合い深く関係を築く。ようこそ尊重する」というお話は、私が思ひ、悩み、模索してこたことにヒントを与えてもらつた

環境に合わせた子育て支援を
福島県らしさを出しつと民話の語り部で始めた1日目のプログラム。「子どもの健育成には、母親クラブに加え、行政、地域、民間団体による支援が必要。関係機関の活動を知り、協力や役割分担による活動の広がりを」などの趣旨のもじでリレー講演が行われました。

私たちに今できる」とは?

1日目は行政説明の後に、フリークリスター横田幸子さんの講演会。フォーラムでは、病院理事長、養護学校校長、児童厚生員、学童野球指導者の4名のパネリストの方が、不登校児童への「ゆめやかな(子どもを)受け止めの仕方／子どもの得意な分野への

共に育つ豊かな社会

今回のプログラムでは、県内参加者の途中退場者を少なく、県内外の人々が交流できる席割り／開会前に体操と歌でリラックス／バスセッションで全員参加型の研修会にななどの工夫をしました。

1日目は井上美鈴先生から「わびべ

きて嬉しく思つてます。

～口田の子育て支援フォーラムでは、一人親家庭、自閉症の親の会、ママブルー支援研究会、国際結婚の家庭からその当事者にパネリストとして参加していただきました。ひとつとして同じ状況にない家庭環境では、親の子育てに対する悩みもさまざま。パネリストからそれぞれの悩みや子育て体験を紹介してもらい、安心し自信を持つ子育てを続けようと思つてしまふのを一つの見出します。

～口間を通して、各人の子育て環境が違うことを理解し地域で状況に合った適切な支援ができるべきだと思いました。それには私たちの子育てに対する勉強と研鑽が求められるを感じています。開催にあたり協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

福島県地域活動連絡協議会 会長 捧梅子

～口田の子育て支援フォーラムでは、一人親家庭、自閉症の親の会、ママブルー支援研究会、国際結婚の家庭からその当事者にパネリストとして参加していただきました。ひとつとして同じ状況にない家庭環境では、親の子育てに対する悩みもさまざま。パネリストからそれぞれの悩みや子育て体験を紹介してもらい、安心し自信を持つ子

育てを続けようと思つてしまふのを一つの見出します。

～口田は事業説明に続き「協働でつくる地域の安全プログラム」開発事業の事例発表。また、開催県の活動報告では、自然体験とともにづくり事業を中心とした実践発表がありました。最後はグレープに分かれ、「地域の安全についてできること」を中心に話し合いました。なお、会員の手作り作品をロビーで展示するなど石川県地協の活動をじっくり見ていただき、大好評でした。

石川県地域活動連絡協議会 副会長 桜井晴美

～口田は高校・大学生になつても児童館を訪れ、ボランティアとして手伝う子どもたちと、温かく、時には厳しく迎え入れる職員の対応の様子／試合に負けたぐらーやバットなどの道具をすぐにお買換える家庭の問題など、それぞの立場から見た子どもたちの姿などを話されました。

～口田は広島県、香川県、熊本県から「協働でつくる地域の安全プログラム」の活動報告をしていただき、最後

では、自然体験とともにづくり事業を中心とした実践発表がありました。最後はグレープに分かれ、「地域の安全についてできること」を中心にはじめました。云々と、会員の手作り作品をロビーで展示するなど石川県地協の活動をじっくり見ていただき、大好評でした。

岡山県地域活動連絡協議会 会長 吉田じゅり

～口田は広島県、香川県、熊本県から「協働でつくる地域の安全プログラム」の活動報告をしていただき、最後では、自然体験とともにづくり事業を中心とした実践発表がありました。最後はグレープに分かれ、「地域の安全についてできること」を中心にはじめました。云々と、会員の手作り作品をロビーで展示するなど石川県地協の活動をじっくり見ていただき、大好評でした。

～口田は広島県、香川県、熊本県から「協働でつくる地域の安全プログラム」の活動報告をしていただき、最後

では、自然体験とともにづくり事業を中心とした実践発表がありました。最後はグレープに分かれ、「地域の安全についてできること」を中心にはじめました。云々と、会員の手作り作品をロビーで展示するなど石川県地協の活動をじっくり見ていただき、大好評でした。

～口田は広島県、香川県、熊本県から「協働でつくる地域の安全プログラム」の活動報告をしていただき、最後では、自然体験とともにづくり事業を中心とした実践発表がありました。最後はグレープに分かれ、「地域の安全についてできること」を中心にはじめました。云々と、会員の手作り作品をロビーで展示するなど石川県地協の活動をじっくり見ていただき、大好評でした。

～口田は広島県、香川県、熊本県から「協働でつくる地域の安全プログラム」の活動報告をしていただき、最後

では、自然体験とともにづくり事業を中心とした実践発表がありました。最後はグレープに分かれ、「地域の安全についてできること」を中心にはじめました。云々と、会員の手作り作品をロビーで展示するなど石川県地協の活動をじっくり見ていただき、大好評でした。

～口田は広島県、香川県、熊本県から「協働でつくる地域の安全プログラム」の活動報告をしていただき、最後では、自然体験とともにづくり事業を中心とした実践発表がありました。最後はグレープに分かれ、「地域の安全についてできること」を中心にはじめました。云々と、会員の手作り作品をロビーで展示するなど石川県地協の活動をじっくり見ていただき、大好評でした。

～口田は広島県、香川県、熊本県から「協働でつくる地域の安全プログラム」の活動報告をしていただき、最後

参考者の声

- リレー講演という形式がよかつたと思います。それぞの講演を聞いて母親クラブでも何かできないかと思った。
- 研修会に参加し、多くの知識やヒントを得られ感謝します。
- お金をかけずにできる支援とは何が、参考になりました。

参考者の声

- 「親は心に余裕を持ち、子どもの良さを引き出してあげる」の言葉が印象深く、実生活に活かしたいと思いました。
- 日々子育てと仕事に追われ、見失つていたことを気がつかせてもらいました。
- フォーラムでの実践者・現場の生の声は、心に感じるものがありました。もう少ししゃべり話を聞きたかった。

参考者の声

- バスセッションは新しい体験で、楽しいなかにも重みのある話ができました。
- バズセッションではもう少しじっくりと話す時間が欲しかったです。
- 講演は普段聞くことのできない話で、美術館の見方が変わりました。家族で行ってみたいと思いました。

参考者の声

- 地域住民が意識して子育てに協力しなければならない現在の厳しい社会状況を楽しく話してくれて、前向きになれた。
- 自分の内面を見つめ直す良い機会になった。
- ～口間の研修を通して、地域のなかで活動が根付くように、地域を大切にし地域の人たと協力して次世代をつくりあげていきたいと改めて思いました。

地域の「子どもたちが安心して遊べる」

母親クラブによる「子どもの安全・安心まちづくり」全国一斉キャンペーン事業



メディアも注目した

街頭キャンペーン

今年度全地協では、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、地域住民の防犯意識の喚起・向上を図るため「安心まちづくり」キャンペーンを積極的に展開してきました。この活動を効果的に展開するため、キャンペーングッズを作成し全国の母親クラブへお送りしましたが、ご活用いただけましたでしょうか。

また、キャンペーン活動の一環として、全国6か所（仙台市、太田市、渋谷区、和歌山市、広島市、北九州市）で、街頭キャンペーンを実施しました。みなさんがキヤンペーンTシャツを着て、駅前や商店街、大型児童館などで安全を呼びかける姿を配布。子どもたちが安心して遊べるように、防犯意識の向上を呼びかけました。この活動には、行政や関係者のご協力・ご支援を多数いただき、各地での様子は地元の新聞やテレビで報道され、成功裏に終りました。この場を借りまして改めてお礼申し上げます。さらに秋田県地協では、行政と協力し、青色回転灯を取り付けた自動車で通学路のパトロールを行いました。

さて、今回のキャンペーンに関して、会員のみなさんにはアンケートをご協力いただきありがとうございました。詳細な結果については、年度末に作成

また、キャンペーン活動の際に、スマートフォンで撮影された写真をホームページ上に掲載します。

する事業報告書およびホームページ上でご報告しますが、簡単に中間結果をお知らせします。

母親クラブ会員向けアンケートより

・活動に際して、スマートフォンで撮影された写真をホームページ上に掲載します。

・5割近くの会員がキヤンペーングッズが必要との回答をしている。

小学生向けアンケートより

・子どもたちには、学年を問わず好意的に受け入れられた。特に、「パトロールしてくれると安心」「困ったときに声をかけようと思つ」の回答率が高いかった。

これらの回答結果をもとに事業の成果を見直し、課題を整理して



東京都内でのキャンペーン風景

・「公園の安全点検」は昨年に引き続き今年度で2回目、7月を「防犯月間」として全国の単位クラブで活動。10月末時点で1505か所の公園の報告がありました。

今年度も多くのクラブ会員の皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。

なお、それぞれの点検報告を基に荻須隆雄玉川大学教授、中村攻千葉大学教授に分析をしていただき、年度末に調査報告書とまとめています。

「遊び場の遊具点検」と
「公園の安全点検」
ご協力ありがとうございました！



子育てTopics

児童館・児童クラブや
子育て支援にかかる
さまざまな情報や話題を
ピックアップして
紹介します。



児童館・児童クラブ全国大会終了

去る1月3日・4日、「第8回全国児童館・児童クラブ沖縄大会」が開催されました。全国から4百名の参加があり、研修はもつろんのこと、交流を深めました。プレイイベント「あやびにっこじ」では地元沖縄県内の母親クラブもブースを出展。約2千名の来場があり、大会を盛り上げてくださいました。沖縄らしいチャンプルー文化に染まり、癒しと感動のある大会となりました。大会の様子は、地元実行委員がつづったブログで詳しく報告されていますので、ぜひご覧ください。

(<http://zenkokukinokawa.cocolog-nifty.com/>)



毎年点検活動を実施していますが、「地域のリビングルーム」として、地域の人たちに愛される公園に育てていきたいと思います。

子どもの声が騒音に?!

最近の報道によると、「児童館や公園で遊ぶ声が騒がしい」という、子どもの声を巡る苦情が自治体に寄せられるケースが増えているそうです。東京都内のある公園では噴水で遊ぶ子どもの声を裁判所が騒音と認定し、市が噴水を止めてしまったという事態にまで発展してしまいました。母親クラブでは「公園を安全・安心な遊び場にしよう」と

毎年点検活動を実施していますが、「地域のリビングルーム」として、地域の人たちに愛される公園に育てていきたいと思います。

【通信委員の皆さんから】

● 母親クラブの活動や情報交換に役立てる
いたい」と、通信委員が機関誌の編集やブログなどがんばっています。情報提供などご協力、よろしくお願ひします。

● 北海道・東北ブロック 阿部 恭子さん

機関誌の発行を通して皆様から活動状況、ご意見をお寄せいただき、会員の「ママ」ケーションや会の発展に役立つような、よりよい内容にしてもらいたいと思います。

● 関東・甲信越ブロック 根津 久美子さん

身近な機関誌として、皆さまに活用していくだき、母親クラブの活動につながる情報を、たくさん発信していただけるようがんばります。ご協力お願いします。

● 東海・近畿・北陸ブロック 細川 豊子さん

今考えねば重要課題は「親育てと子育て、どちらを優先にすべきか」です。会員の資質向上こそ親育ての第一歩。みんなで子育て支援活動の原点を見極めたいのです。

● 中国・四国ブロック 伊賀上 恵子さん

イベントで自慢に「クラブ自慢」ブログに載せる新着情報。また、まわりのメッセージ、責任もつてお届けします。あなたのクラブのこどもたち、どんどんみんなに伝えましょう。

● 九州ブロック 高山 文子さん

知っていますか? パソコンができないても、携帯電話から「ログ」に参加できます。楽しい活動の様子や感想・声を届けてください。通信委員になつたおかげで、はまっています。

みんなのひろば

今日もどこかで、元気に活動を続いている母親クラブ。各ブロックから届いた活動レポートをご紹介します。

中国・四国ブロック



北海道・東北ブロック



東海・近畿・北陸ブロック

北海道・東北ブロック

鶴が丘子育て支援クラブ

●所在地 宮城県仙台市
●メンバー数 17名

「大きなかぶ」(写真)など
現在レパートリーは6作品。
子どもたちの喜ぶ顔に
励まされています。



オペレッタ公演で、子どもたちに夢を

町内発足10周年演芸フェスティバルへの出演依頼を受けたことがきっかけで始めたオペレッタ公演。舞台が中学校の体育館ということもあり、大きな動きのある出し物をと、みんなで相談。国語の教科書にある「大きなかぶ」をオペレッタにして発表しようと決意しました。

まずレコード探しに始まり、背景の絵の作成、動物のお面作り、さらには衣装や小道具類の準備など、一つひとつが手探りの状態でした。なかでも音楽に合わせての演技が難しく、児童センターの先生方のご指導や会員さんたちの応援をいただき、無事発表までこぎつけることができました。観客席の子どもたちの笑顔と拍手が、私たちに大きな満足感、充実感を与えてくれました。

オペレッタ公演は今年で19年目。レパートリーも増え、意欲を持って取り組めるようになりました。今後は後継者作りも兼ねて若い会員を増やし、みんなの喜ぶ顔に励まされながら子どもたちに夢を与えじきたいと思っています。 (会長 佐藤栄子)

関東・甲信越ブロック

常総石下母親クラブ
「ぼくぶんクラブ」

●所在地 茨城県常総市
●メンバー数 46名

はたけ遊び(写真)で
ジャガイモを掘ったり、
お年寄りとふれあつたり。
地域の輪を育てています。



「町の子はみんなわが子」をテーマに

今年で誕生2年目を迎える「まつぶとんクラブ」。親子のふれあいや人ととのつながりを大切にしながら地域全体で子育てができる環境をつくっています。子育てで孤立しがちな時期をひとりで悩まず、みんなどうしたらいいかを見つけてもらいたい。そんな大きな夢と希望を持ったクラブです。

今年6月、地域・世代間交流事業のひとつとして「第二回♡子育て応援隊♡親子ふれあいまつり」を開催しました。

子育て支援団体などに声をかけ、17団体の協力のもと、子育て情報交流会やおもちゃ作り・表現遊び・食育のパネルシアターなどの親子体験、地元商店お惣菜コーナーなどを実施、総勢4百名を超える参加者で会場は熱気に包まれました。

スタッフと参加者がひとつになり「ふれあいつながり・子育てネットワークづくり」のテーマについて改めて考える機会を持つことができました。これからも子育ての仲間づくりを通して、地域に根ざしたクラブにしていきたいと思います。 (会長 荻根文江)

■東海・近畿・北陸ブロック

■中国・四国ブロック

■九州ブロック

新横江母親クラブ

●所在地 福井県福井市
●メンバーナンバー数 82名



みんなと一緒に
おいしい空気を味わつて
大自然を体感。
歓声がこだましました。

愛媛県地域活動連絡協議会

●所在地 愛媛県松山市
●メンバーナンバー数 22560名
●会長 囲崎栄子



万華鏡作り(写真)や
絵本のフリーマーケット。
多くの来場者が
思い思いに楽しみました。

小次郎の里での、1日父子体験

親も子も共に体験を通して知る体験学習こそ、逞しく子どもを育てる基本であると思います。剣豪の達人佐々木小次郎が、武術の神髄を修得したと言いつておられる福井県福井市一乗の滝で、お父さんと子どもたちが「1日父子体験」を楽しみました。

山あいの林から聞こえる野鳥の鳴き声、生い茂る木々の美しさ、輝く太陽と澄んだおいしい空気。流れ落ちる滝の水しぶきに圧倒される子どもたちの歓声も、一段と逞しく聞こえてきました。

山里に育つ子どもたちは活気に溢れ、その瞳もいきいきと輝いています。勉学にいそしむ子どもの姿も大切ですが、幼少期に自然とふれあいながら肌で修得する遊びなど、いろいろな体験が混ざり合つてこそ、はじめて大人の人間形成ができると思います。

小次郎の里でのバーベキューと炊飯体験、朝倉遺跡と一乗の滝での自然体験、自然環境の大切さを学ぶお話など、みんなで楽しんだ身近な子育て応援事業でした。

(会長 細川 豊子)

児童館が地協を全面的にバックアップ

1月23日、大型児童館「えひめ」の城で開催された愛媛県地協の研修大会「子育て応援! ふれあいフェスタ」に参加しました。太鼓演奏や読み聞かせ、ホールには木のおもちゃが大集合。絵本のフリーマーケットや万華鏡・折り染めづくりなど、来場者も多くの児童館が県地協を全面バックアップしたイベントだと感じました。

愛媛県地協は今年県の補助金カットで退会クラブが続出、解散を考えたものの残った2市のクラブや理事・事務局からの強い要望で存続を決めたそうですが。単位クラブの補助金は各市に任せ、地協の運営費は会費・積立金・助成金でまかなうことにして、今年度の助成金は県の「地域子育て力アップモニター事業」で教育に関する申請をし、食品会社との共同事業で獲得しました。

補助金カットや会員数の減少は、今や各県地協で現実のものとなっています。今後、連絡協議会をいかに維持・存続させていくか、私たちの大きな課題となります。

(通信委員 伊賀上 恵子)

多くの刺激を受けた情報交換

佐賀県の母親クラブの会員が集まつての情報交換会。各クラブの活動などを紹介し合い、活動を企画実施する際に苦労していること、次代リーダーの育成や会員を増やすための工夫など、活動のリーダーとして共通に感じている問題点などを話し合いました。アンケートでは「年に数回はこのような場を作つて欲しい」「情報収集ができるよかったです」「今後の活動に変化が必要だと感じた」など多くの意見が寄せられ、他のクラブの活動を知ることで自分たちのクラブを振り返り、今後の活動がマンネリにならないよう、新しい企画をマネジメントしていくことを再確認しました。

みらい子育てネットワークでは、より広く情報を伝え合じ、より多くの人と一緒に楽しい活動ができるよう、ブログやSNSを活用した子育て「ミニ」ティーをつくる計画を立てています。子育て世代のニーズに応えながら、子育てをする人と応援する人がつながり、母親クラブのネットワークが広がることを期待しながら…。

佐賀県地域活動連絡協議会

●所在地 佐賀県佐賀市
●メンバーナンバー数 1251名
●会長 佐賀県の仲間たちが
集まって情報交換。
さまざまな思いや課題を
語り合いました。



事務局 NEWS

叙勲、大臣表彰
おめでとうございます！

■叙勲

平成19年度秋の叙勲で、山口県地域活動連絡協議会の重田会長がめでたく旭日小綬章を受章されました。重田さんは、全国地域活動連絡協議会の会長を、長年務められ、子どもたちの健全育成ならびに母子福祉へ力を尽くしてこられました。

今後益々の活躍をお祈りいたします。

山口県地域活動連絡協議会



■厚生労働大臣表彰

平成19年度全国社会福祉大会において、長年児童福祉や社会福祉事業等の発展・推進に貢献されたことが認められ、次の方々が受賞されました。おめでとうございます。

【児童福祉法制定60周年記念
児童福祉事業功労者・団体表彰】



(財)児童健全育成推進財団
鈴木一光 常務理事・事務局長
心よりお慶び申し上げますとともに、今後とも母親クラブ活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

- ぐんま地域活動連絡協議会(中村京子会長)
- 愛知県女性団体連盟(加藤愛子会長)
- ※愛知県地域活動連絡協議会 加藤愛子会長(が加盟)

平成20年度の全国大会・ブロック別研修会のメインテーマとなります。

「つたわるよ
めとめをあわせて はなしたら
じ応募、ありがとうございました」

平成20年度「児童福祉週間」標語募集ではたくさんの方々からご応募をいただき、ありがとうございました。選考の結果、次の作品に決定いたしました。

● 母親クラブ
みらい子育てネットだより
発行／全国地域活動連絡協議会

Tel 010-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-1 10F
財団法人 児童健全育成推進財団内
TEL 03-3797-8183 FAX 03-3486-5142
<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>

ホームページがリニューアル

ご存知でしたか？ 全地協のホームページがリニューアルしました。今はやりのブログを取り入れ、各ブロックの情報がリアルタイムで掲載できるようになりました。コメントを残すこともできますので、情報交換の場としてもぜひご活用ください。

▲全地協のトップページ
(<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>)
ブログのページに行くには、「母親クラブ みらい子育てネットblog」の文字をクリック！

▼ブログのトップページ

左のQRコードを読み取れば、
ブログページに簡単にアクセスできます。
(<http://hahaoya-club.seesaa.net>)



携帯電話からも見られます。
左のQRコードを読み取れば、
ブログページに簡単にアクセスできます。
(<http://hahaoya-club.seesaa.net>)

情報・写真提供のお願い

機関誌の表紙をあなたの写真で飾りませんか

次号の機関誌作成にあたって、みなさんのからの情報をお待ちしています。各クラブのおもしろい活動や慢の活動など、事務局まで情報をお寄せください。また、次号表紙に掲載する写真も募集します。「世代間交流をテーマに撮影されたもので、あるいはなんでも結構です。採用させていただいた方には図書カードをプレゼントさせていただきます。

中村京子会長
全国地域活動連絡協議会

思いもよぬ受賞に驚いています。先輩会員の皆様の地道な活動の賜と心より感謝申し上げます。賞の名に恥じぬよう更に頑張ります。

佐々木とし子会長
(宮城県地域活動連絡協議会)

この受賞は活動を共にしてきた仲間達、家族、そして事務局など多くの皆様のご支援、ご協力の中でいただいたものと感謝申し上げます。

鎌田典子副会長
宮城県地域活動連絡協議会

長い間地域で活動している会員の皆様を代表しての受賞と受け止めております。これを励みに今後もベストをつくしたいと思います。

【社会福祉事業関係団体功労者表彰】



和田麗子会長
富山県母親クラブ連合会
この度社会福祉事業団体部門を代表して、栄えある大臣表彰を受けました。この喜びを今後肝に銘じ、社会福祉向上に努めます。

■総務大臣表彰

地方自治法施行60周年記念式典で、次のが地協関係団体が県行政に積極的に参画または「ミニミニティを営む民間団体として表彰されました。おめでとうございます。

● ぐんま地域活動連絡協議会(中村京子会長)

- 愛知県女性団体連盟(加藤愛子会長)
- ※愛知県地域活動連絡協議会 加藤愛子会長(が加盟)

- 送り先
左記の全地協事務局まで
- メールでの送付先
emino@hahaoya-club.ne.jp
- 締め切り
2008年1月末日

※本誌では以下の略号を用いることがあります。

全地協…全国地域活動連絡協議会
地協…地域活動連絡協議会
育成財団…(財)児童健全育成推進財団